

先日当社では、アロン化成㈱の「ものづくりセンター」見学を行いました。  
今号では「ものづくりセンター」と、見学を通して学んだ事を中心にご案内いたします。

## ものづくりセンターってどんなところ？

ものづくり力強化のために、新しい考えと価値観で製品を創造する場として2011年9月にアロン化成㈱が建設。

### <見学>

建物中央部は自然採光が取り入れられ、明るくきれいな建物でした。  
研修・体験エリア、流水実験コート、展示ルーム、体験ハウス、グリーンコート、グリーンエリアなど様々なエリアに別れており、所々に自然の恵みを活用する新しいシステムが取り入れられていました。

## 流水実験コート

流水実験コートでは、透明の配管へ実際に水を流すことで「排水の流れ」を体験することが出来ます。

### <体験>

勾配の異なる2本の配管の中を、擬似汚物と水が流れていく様子が確認できました。

勾配の差は極わずかなのに、どんどん流れる速さに差が出てくるのは見ごたえがありました。ただし、あまり勾配をきつくすると、今度は汚物を残して水だけが流れてしまうのだとか...。限界を見極める、メーカーとしてのこだわりを感じました。

## 展示ルーム

展示ルームでは、アロン化成が日本で初めて製造に成功した、当時の塩化ビニルパイプのレプリカや商品の発売年表等を見ることが出来ます。また、ポータブルトイレの脱臭機能やバケツについて臭覚、聴覚を使って実体験が可能です。他にも沢山の展示物があり、普段では知りえない、開発へのこだわりを感じられる場所となっています。

### ●ちょっといい話●



館内中心部のグリーンコートでは、緑の空間が来客者やワーカーを和ませてくれます。若木には、可愛い鳥の巣が!!  
残念ながら巣立ちの後のようでしたが、運が良ければ野鳥の姿が見れるのかもかもしれません。

### ●バケツの持つ意外な機能●



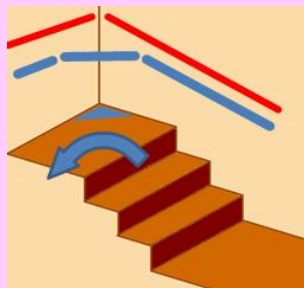
ポータブルトイレのバケツが凸凹した形をしているのはご存知ですか？  
この凸凹にはとても大切な意味があるのです。  
排尿時、この凸部に尿が当たることにより、バケツ側面に沿って尿が流れ、気になる水音を緩和してくれます。  
ものづくりセンターでは、凸凹のないタイプとあるタイプ両方のバケツに、尿に見立てた水を流すことで、音の違いを実感することが出来ます。

## 体験ハウス

体験ハウスでは、戸建住宅の給排水設備がどのようになっているのかが確認できます。

### <見学・体験>

普段は地面に隠れている配管を実際に見ることが出来る他、施工業者向けにアプローチ手すりや浴室手すりの取り付け実習が出来るよう工夫されていました。  
また、玄関や階段には手すりが設置され、実際に触れることで、どのように設置すれば使いやすいか等が実感できます。



### ●動線重視の設置例●

左記は左折れの階段の手すり設置例です。  
赤のラインは壁伝いに手すりを設置した例。  
青のラインは動線を重視して設置した例。  
青のラインのように手すりを設置する事で、角のスペースをショートカット。人の動線に沿っているので、動作もスムーズに行えます。

<最後に...>「ものづくりセンター」では、他にも随所で細やかな工夫が見られ、商品へのこだわりだけではなく、環境に対しての取り組みや、自然との共生についての新しいあり方等を体感することが出来ました。  
また、メーカーとしての熱い想いのこもった商品に触れる事で、当社もその想いをしっかりと受け取りました。  
今後、当社では、よりいっそう商品にこめられた「こだわり」を皆様にお伝えできるよう努めて参ります。

